



なかまだみんな

横浜市立中和田南小学校

電話 802-0979

感謝です。

校長 山崎 薫

極寒の日々が続くことが多い今年の冬です。オミクロン株の急激な感染で、再び「まん防」が発出されてしまいました。子どもたちの学習にさらなる支障が出ないことを願うばかりです。

20, 21日に予定しておりました授業参観も中止。教室や廊下には、保護者の皆様にも見てもらえるはずであった書初め、図工作品、人権週間で取り組んだ人権標語等がきれいに飾られています。作品を通じて学習の様子や姿勢なども感じていただけたらと思っていましたので、その点では残念でしたが、「頑張って作り上げたものを友達同士で見合うことで達成感を味わってほしい。」と、放課後に掲示作業をしていたある担任が私に話してくれました。気持ちを込めて作品を仕上げた子どもたちと、内輪で恐縮ですが、作品を大切に扱っている全職員に感謝です。

4年生の上郷宿泊体験学習も、何とか実施できないかと悩んでおりましたが、中止の決断をすることになってしまいました。18日に私は4年生の各クラスに出向き、直接、中止になった経緯を伝えました。楽しみにしていた宿泊体験学習です。年明けから、事前学習にも取り組み始めていました。子どもたちの心情を考えるととてもつらかったのですが、必ず心の中にあるであろう「行きたい。」という気持ちを抑え、冷静に私の話を聴いてくれました。状況を理解できている視野の広がりや心の成長に私は感激しました。4年生の子どもたちに感謝です。落ち込んでしまった学年全体が少しずつでも元気を取り戻してくれることを願っています。

校長室廊下の前には、1月に設定された給食週間の取組として、全学級で作った調理員さんへの感謝のメッセージが貼られています。「いつも温かい給食を」、「暑い日も寒い日も」、「栄養のバランスを考えていただき」、「大好きなメニューを作ってくれて」、「苦手だった野菜もおいしく食べられるような味付けをしていただき」など、自分たちの言葉で、丁寧な字で、感謝の言葉がつづられています。美味しい給食を食べられることへの有難さを感じ、それを常に提供することに奮闘している調理員の努力や姿勢に気付けた子どもたちに感謝です。

給食のことについてももう少し述べますと、献立は前年度のうちに市内各校の栄養士が集まり決定します。さらに泉区においては、充実した行事食や地産地消を意識した地元食材利用も加味しています。そのようにして決定した献立に対し、市場に食材の発注をします。横浜には約340の小学校があります。その消費量を確実に調達するために、前年度のうちに計画するのはそのためです。そして、食材は使用日の朝、納品されます。すぐに検品をし、350人分を調理員3人で作ります。食後は、食器の洗浄、調理場の消毒を終え、翌日の手順を確認して業務終了です。先述同様、内輪で恐縮ですが、子どもたちのために「食」の面から支えてくれる調理員に感謝です。

自分が受ける恩恵に対し、感謝の意をもてる人の集まりは居心地がよいです。居心地がよくなれば、周囲のために次は自分が役立つとする気持ちが芽生えたり高まったりするのではないかと思います。学校だよりのタイトルのように、中和田南小は「なかまだみんな小学校」でありたいと思っています。そのような集団になるようにこれからも励んで参ります。どうぞよろしくお願いたします。